

平成30年度 岡山県文化振興審議会

日時：平成31年2月13日（水）

10時～11時30分

場所：ルネスホール ワークルーム

1 開 会

2 会長及び副会長の選任

3 議 事

- ・平成30年度県実施事業
- ・おかやま文化振興ビジョン成果指標実績
- ・平成31年度県重点事業

4 その他

5 閉 会

岡山県文化振興審議会委員

任期：2018.2.1～2020.1.31

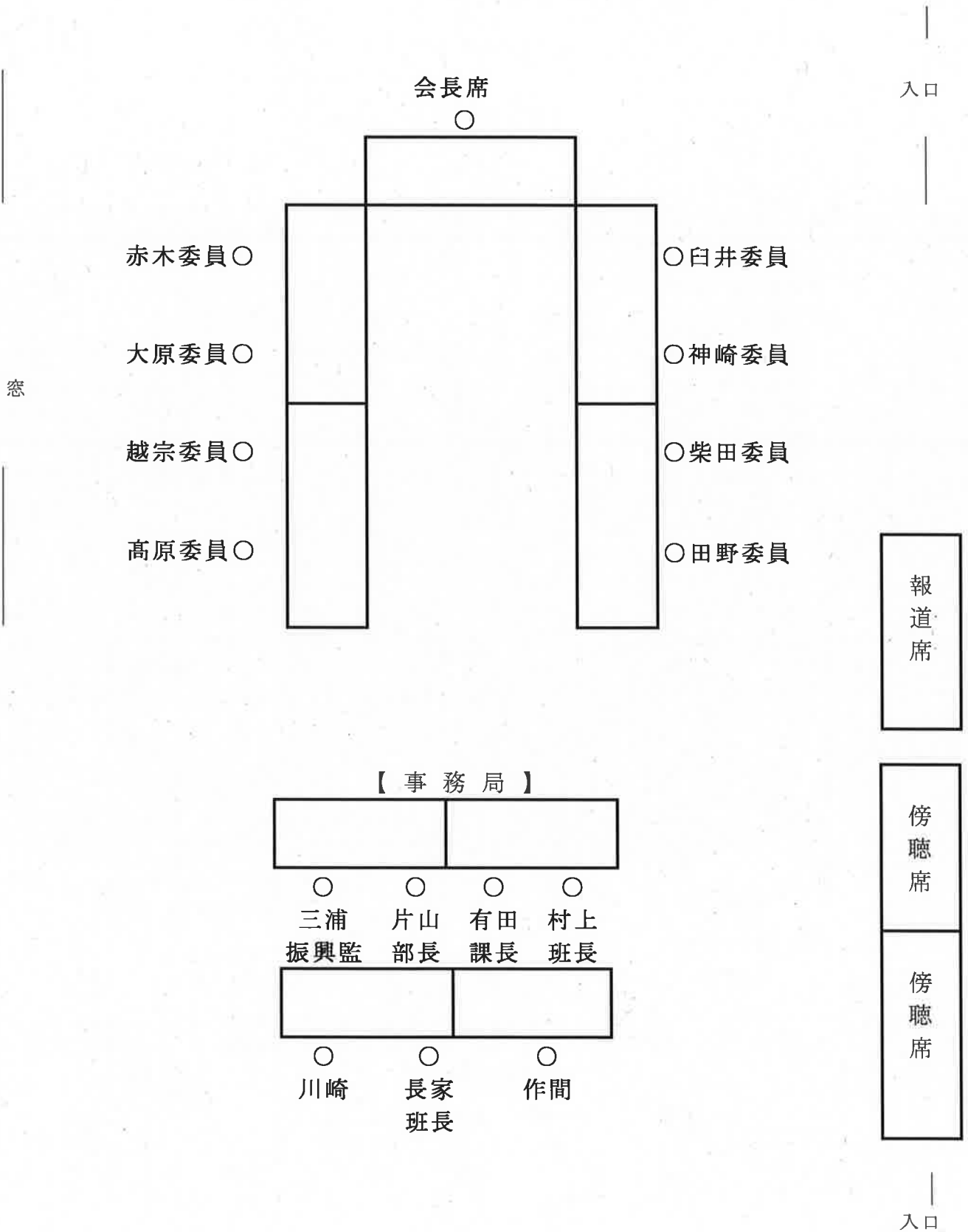
氏名	役職名
赤木 里香子	岡山大学大学院教育学研究科教授
臼井 洋輔	備前市立備前焼ミュージアム館長
大原 謙一郎	公益財団法人大原美術館名誉館長
神崎 宣武	民俗学者
越宗 孝昌	山陽新聞社取締役会長
新任 柴田 奈美	岡山県立大学デザイン学部教授
新任 高原 洋一	版画・造形
竹内 京子	くらしき作陽大学教授音楽学部長
田野 智子	NPO法人ハートアートのリンク代表理事

敬称略 50音順

平成30年度 岡山県文化振興審議会 配席図

日時：平成31年2月13日（水）10:00～11:30

場所：ルネスホール ワークルーム



平成30年度 岡山県文化振興審議会

配付資料

日時 平成31年2月13日(水)

10時～11時30分

場所 ルネスホール ワークルーム

1 平成30年度県実施事業

(1) おかやま文化芸術アソシエイツ事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

(2) 文化プロジェクト推進事業

①アーティスト滞在・交流事業の開催状況・・・・・・・・・・・・・・ 3

②芸術文化育成・支援事業の開催状況・・・・・・・・・・・・・・ 4

③「アートで地域づくり実践講座」の開催状況・・・・・・・・・・・・・・ 5

(3) 県立美術館事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

2 おかやま文化振興ビジョン成果指標実績

(1) 文化振興ビジョン成果指標実績 (H24～29)・・・・・・・・・・・・・・ 10

(2) 文化振興ビジョン成果指標実績 (2018～)・・・・・・・・・・・・・・ 15

3 平成31年度県重点事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

〈参考資料〉

岡山県文化振興審議会規則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

おokayama文化芸術アソシエイツ事業について

事業趣旨	公益社団法人岡山県文化連盟に「おokayama文化芸術アソシエイツ」を設置し、文化団体等の活動を支援するとともに、東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムへの参画を促進する。
事業概要	<p>おokayama文化芸術アソシエイツについて</p> <p>1 組織</p> <p>【プログラム・コーディネーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大月ヒロ子氏/有限会社アイデア代表取締役 <p>【サポーティング・パートナー 3名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和田広子氏/（公財）福武教育文化振興財団 ・木下志穂氏/見るを楽しむ！アートナビ岡山（対話型鑑賞活動団体） ・奥富紀子氏/（公財）岡山市スポーツ・文化振興財団 <p>2 業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムの周知、参画の促進及びbeyond2020プログラムの認証・相談窓口 ・文化団体等の活動に対する助言、支援 ・県内の文化芸術資源を発掘、再評価、活用するための調査事業の実施 ・文化活動に係る研究会、勉強会、講演会などの実施 <p>3 実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化プログラム認証件数（平成30年4月1日～12月28日現在） <li style="padding-left: 40px;">東京2020応援文化オリンピックアード・・・58件 <li style="padding-left: 40px;">beyond2020プログラム・・・279件 ・文化団体等の活動に対する助言、支援・・・72件 <p>4 主な事業</p> <p>「文化芸術交流実験室」（トークセッション&ワークショップ）について</p> <p><趣旨></p> <p>文化の各分野はもとより、福祉や教育、まちづくりなど様々な分野との交流に文化の創造性を生かして、文化資源の掘り起こし、県内の人材や文化資源の領域横断的な出会いの場の創出・ネットワークの構築を目指す。</p> <p><実施概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として、月1回開催 ・各回とも定員30名

文化芸術交流実験室

（講師敬称略）



4/28「画材から見る日本の絵画」
 講師：森山知己（日本画家、倉敷芸術科学大学教授）降旗千賀子（目黒区美術館学芸員）/ 場所：県立美術館（岡山市）/ 参加者：47名



5/19「糸紡ぎから広がる世界」
 講師：青島由佳（KakaraWoolworks主宰）難波久美子（県立大学デザイン学部造形デザイン学科教授）/ 場所：県立大学（総社市）/ 参加者：54名



6/2「文化芸術の仕事で生きる」
 講師：矢萩多聞（画家、装丁家）川埜龍三（芸術家、無職）柏原拓史（NPO法人だっぴ代表理事）/ 場所：Jテラスカフェ（岡山市）/ 参加者：41名



8/25「建築探偵団其の壱『会館』」
 講師：石田尚昭(岡山市スポーツ・文化振興財団常務理事) 弥田俊男(建築家、岡山理科大学工学部建築学科准教授) / 場所：岡山市民会館(岡山市) / 参加者：36名



9/29「文化を伝えるグラフィックデザイン」
 講師：黒田武志(アーティスト、造形作家) 川路あずさ(アーティスト、デザイナー) / 場所：IDEA R LAB、TAMAYA TAMASHIMA(倉敷市) / 参加者：34名



10/20「海から見る岡山」
 講師：高原次郎 兵衛正伸(建築家、うなぎ漁師) 在間宣久(前県立記録資料館館長) 加瀬野久志(船模型製作家) / 場所：旧松島分校(倉敷市) / 参加者：33名



10/28「岡山の中の異文化コミュニティ」
 講師：譚俊偉(総社市役所市民生活部人権・まちづくり課国際・交流推進係) 大橋香奈(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科助教) / 場所：きよね夢てらす(総社市) / 参加者：36名



11/3「建築探偵団其の貳『団地』」
 講師：石田尚昭(岡山市スポーツ・文化振興財団常務理事) 菊地マリエ(公共R不動産コーディネーター) / 場所：住吉町の家分福、老松団地(倉敷市) / 参加者：21名



11/16「価値を紡ぐプロジェクトアーカイブ」
 講師：金廣有希子(公財) 福武財団アーカイブ・セクションリーダー) 多田智美(編集者、(株)MUESUM代表) 橋本誠(アートプロデューサー、(一社)ノマドプロダクション代表理事) / 場所：東山ビル(玉野市) / 参加者：35名



12/1「アーティストが作った料理 作家が作った料理」
 講師：杉本克敬(パリス、ネバーキッチン主宰、EXCAFE代表) 新藤信(日本パウル・クレ協会代表) / 場所：KLT 岡山 3F カフェg oldilocks(岡山市) / 参加者：28名



12/24「芸術文化の今 ソウルと岡山」
 講師：多田淳之介(演出家、劇作家) 劉誠子(ソウルデザイン財団) / 場所：岡山後楽園鶴鳴館(岡山市) / 参加者：28名



1/13「音楽と絵と映像と」
 講師：トウヤマタケオ(音楽家) nakaban(画家) 当真伊都子(ピアニスト、ホーカリスト、コンポーザー) / 場所：倉敷市立美術館(倉敷市) / 参加者：42名

アーティスト滞在・交流事業の開催状況

事業趣旨	地域住民や地元アーティスト、NPO、市町村等によるサポートグループが主体となり、地域資源を活用したアーティストの短期滞在制作（アーティスト・イン・レジデンス）を実施することで、地域の魅力を掘り起し文化による地域づくりを促進する。
事業概要	<p>ラクツポイント 2018 鑑賞者 698 名 実施団体：ラクツポイント実行委員会 鏡野町奥津温泉街を中心に、アーティストの大谷俊一が地域の特質を生かした滞在制作を実施。また、地域住民が、様々な関連事業を企画・実施した。 会期：7月21日～7月29日 会場：鏡野町奥津温泉街を中心とした地域 概要：地域の特質を示す場所 13 か所を「ラクツポイント」と命名し、その一つ「東和楼」で滞在制作を行うとともに、いくつかのラクツポイントでは様々な関連イベントを実施して来場者に巡っていただいた。</p> <p>美咲芸術世界 2018 鑑賞者 11,717 名 実施団体：美咲芸術世界実行委員会 パリの共同アトリエ「59Rivoli」に関わるアーティストを中心に、国内外のアーティストが美咲町内各所で制作活動を行った。地域の素材に目を向け、オープニングイベントでは地域住民参加による影絵劇を上演した。 会期：9月23日～10月29日（作品展示期間） 会場：美咲町各所（旭地区、中央地区、柵原地区） 概要：海外招へい作家 3 名（スイス・マロカン、笠原舞、斎藤真理子）を含む国内外の 15 名のアーティストが、町内各所で様々なワークショップやイベントを行うとともに滞在制作作品などを公開した。</p> <p>海と大地のレジデンス 鑑賞者数集計中 実施団体：（一社）クリエイターズラウンジ 倉敷市下津井沖の松島で、アニメーションと陶芸のアーティストが滞在制作を実施し、松島と児島の 2 会場で展覧会を開催した。 会期：11月17日、11月25日（展覧会開催期日） 会場：旧松島分校、児島市民交流センター 概要：旧松島分校を新たな文化施設として整備した施設で、アニメーション作家の大島愛と松岡美乃梨、陶芸家の「SHOKKI」が、それぞれ地域に素材や題材を求めて制作した作品の展覧会を開催した。なお、「SHOKKI」作品の一部は東京でも展示した。</p>

「ラクツポイント 2018」



滞在制作風景(東和楼)



座談会



足踏みべっぴんコンテスト

「美咲芸術世界 2018」



オープニングイベント：影絵劇



アート車両ペインティング WS



アール・ブリュット絵画 WS

「海と大地のレジデンス」



展示風景（旧松島分校）



展示風景（児島市民交流センター）



アーティストトーク

芸術文化育成・支援事業の開催状況

事業趣旨	次世代を担う芸術家を育成するとともに、文化芸術による地域の活性化を図るため、岡山県にゆかりのある美術作家（「I氏賞」受賞作家等）及び新進の芸術家に対して、県内の美術文化施設での発表の場を提供するなど、創作活動を支援する。
事業概要	<p>柳楽晃太郎展「白石島 織る！」 入場者 1,200名 実施団体：NPO 法人ハートアトリンク 岡山市出身の美術作家柳楽晃太郎の「織り」をテーマにした作品展を開催した。映像作家吉川寿人とのコラボレーションによる作品やドイツでの滞在制作作品などを公開した。 会場：笠岡市白石島松浦邸 会期：8月10日～8月19日 付帯事業 ・「バリ舞踊と織る！」 8月15日 出演：小谷野哲郎 ・トークイベント 8月18日 出演：岸本和明 ほか</p> <p>田中孝明展～線の変貌～ 入場者 310名 実施団体：NPO 法人勝山・町並み委員会 倉敷市立短期大学准教授でテキスタイル作家である田中孝明の個展を真庭市で開催した。繊維に紙すきの紙を絡ませた立体作品などを展示した。 会場：勝山文化往来館ひしお 会期：11月17日～12月2日 付帯事業 ・オープニングイベント(トーク&交流会) 11月17日 ・「福田笑子のコットンテープワークショップ」 11月25日</p>

「柳楽晃太郎展『白石島 織る!』」



会場風景



公開制作



「バリ舞踊と織る!」

「田中孝明展～線の変貌～」



会場風景



オープニングイベント



コットンテープワークショップ

「アートで地域づくり実践講座」の開催状況

事業趣旨	地域の資源を活用し、地域のイメージアップとにぎわい創出につながる文化芸術イベントの企画やコーディネートができる人材を育成し、文化を核とした地域づくりを推進する。
フィールドワーク場所	津山市山北 津山市都市公園 衆楽公園(国指定名勝 旧津山藩別邸庭園衆楽園)
事業概要	<p>《講座講師》太田三郎（美術作家）、小林孝（津山市文化協会理事）、櫻井由子(美術作家)</p> <p>《講座受講生》14名</p> <p>○講座の開催（6月3日～1月27日）全19回</p> <p>企画の進め方や実際のアートイベントの運営、イベントの広報戦略、効果的な広報物の作成方法などを講座講師、外部講師から学ぶ座学講座に加え、地域の資源や歴史・文化を生かしながら、受講生自らが企画・準備から開催・運営までを実際に経験する文化イベント(実証イベント)を行った。実証イベント等の経験を確かなものとするため、振り返りを行った。</p> <p>○実証イベントの開催（11月17日～11月18日）</p> <p>地域の資源を活用し、受講生自らが企画、準備から開催・運営までを行う実証イベントを開催した。</p> <p>【開催場所】 津山市都市公園 衆楽公園(国指定名勝 旧津山藩別邸庭園衆楽園)</p> <p>【タイトル】 あーとふえす i n つやま～衆楽園を遊ぼう～</p> <p>【参加アーティスト】 9名(団体)</p> <p>【概要】 陶芸、絵画、苔アート、古写真、ダンス(パフォーマンス)、落語、ピザ焼き体験、葉っぱのしおり作り、手すき葉書づくり 等</p> <p>【来場者数】 約950人</p>

講座(座学、フィールドワーク)6月3日～1月27日 全19回



講座での議論



地域やイベント会場の講義



参加アーティストと受講生との協議



実証イベント終了後の振り返り

実証イベント 11月17日～11月18日



オープニング



陶芸



絵画



苔アート



ダンスパフォーマンス



ダンスパフォーマンス



ダンスパフォーマンス



落語



ピザ作り体験



葉っぱのしおり作り



手すき葉書作り



園内の様子

県立美術館事業について

国内外の優れた芸術活動を紹介する展覧会や美術館講座の開催等、県立美術館の機能を最大限に活用した事業を展開した。

1 展覧会事業

(1) 平成30年度特別展等

展覧会名	期間	入館者数(人)
岡山県立美術館開館30周年記念展 「県美コネクション」1期・2期	4/20～7/1	6,735
ポーラ美術館コレクション	7/6～8/26	66,303
生きてゐる山水	8/31～9/30	2,692
創作版画が歩んだ道のり	10/5～11/4	2,466
第69回岡山県美術展覧会	9/5～9/16	6,258
第65回日本伝統工芸展岡山展	11/15～12/2	5,465
秀桜基金留学賞の10年	1/18～2/24	
江戸の奇跡・明治の輝き (3/15～4/21)	3/15～3/31	

(2) 平成31年度特別展

展覧会名 (仮称)	期間
江戸の奇跡・明治の輝き (3/15～4/21)	4/1～4/21
ロマンティック・ロシア	4/27～6/16
第5回日本美術展覧会岡山展	7/5～7/28
第70回岡山県美術展覧会	9/4～9/15
熊谷守一展	9/28～11/4
第66回日本伝統工芸展岡山展	11/14～12/1
チェコのジャポニスム展	1/4～2/11
坂田一男展	2/18～3/22

2 県立美術館魅力UP事業

県立美術館が県民や観光客にとって、気軽に行ってみたい場所となり、入館者の増となるよう積極的な情報提供・広報、きめ細かいサービスの提供を行い、美術館自体の魅力向上を図るもの。

○「岡山の美術」(常設展) 魅力強化事業

- ・所蔵作品に加え、借用作品を展示し、充実した内容で集客アップを図る。

「黒住章堂展」12/12～1/14

「形山コレクション 茶碗 掌の銀河」1/18～3/10

○美術館魅力発信事業

- ・魅力発信スタッフの配置
- ・ホームページリニューアル・スマートフォン対応実施

○美術館利便性向上事業

- ・後楽園との連携、看板設置

3 次世代ミュージアムファン確保事業

若い世代の人たちに「美術館とのよき出会い」や「生涯を通じ芸術に触れるきっかけ」を積極的に提供することで、美術館を身近に感じ、生涯にわたって美術館に足を運ぶ環境づくりを目指すもの。

○グッド・スタート・ミュージアム事業

- ・学校と美術館の連携委員会による事業検討
- ・美術館学習をサポートする教員、ボランティア等の人材育成
- ・アート・トラベリング・トランク等の美術館教育素材の充実、またそれらを活用した美術館学習プログラムの実施



○ キャンパスメンバーズ制度の導入

大学生等に気軽に美術館へ足を運んでもらうため、既に県で取り組んでいた「岡山後楽園等キャンパスメンバーズ制度」に、平成27年1月から岡山県立美術館も参加した。大学や短期大学、専修学校等に所定の会費負担を依頼し、メンバーになった学校（現在23校）に在席している学生に展覧会（特別展を除く）を無料で鑑賞してもらう制度である。

〔大学生等来館実績〕

平成30年	863人（うち制度利用 418人）
平成29年	847人（うち制度利用 512人）
平成28年	736人（うち制度利用 387人）

4 「おとなり美術館」事業

県立美術館と市立オリエント美術館が連携し、定期的に展覧会情報等の交換を行いながら、相互の情報発信と利用促進を目指す取組を平成27年度から進めている。

- ・ポスターやチラシ等で相互の展覧会をPRするコーナーの設置
- ・所蔵品を1点ずつ交換して紹介する「サテライト展示」
- ・入館チケットの半券を相手館に提示すると団体料金で鑑賞できる制度の導入
- ・美術館ボランティアの相互勉強会の開催 等



5 その他

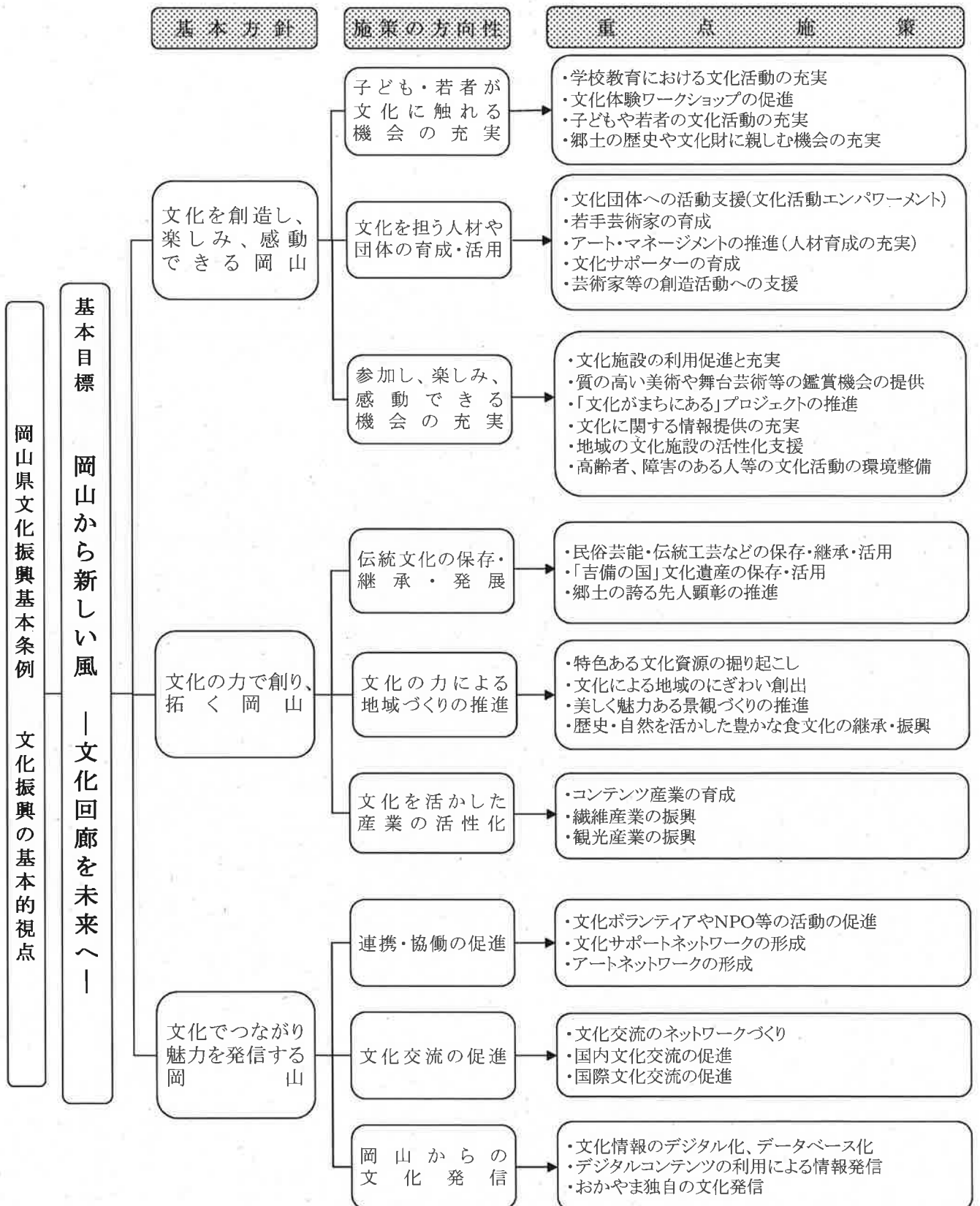
○岡山県博物館協議会

平成3年に県内の博物館・美術館相互の発展を目的に結成された。

県内会員83施設（H30）で組織している。（事務局：県立美術館）

- ・総会開催（記念講演会等）
- ・研修会 平成30年度第1回開催「災害と博物館施設」、2回目2月末実施予定
- ・岡山史料ネット会合（岡山県7月豪雨被害情報、被災史料、文化財について）
9回（H30.7～12月）開催
- ・リーフレット「おかやま博物館なび」加盟店配布
- ・会報「岡山の博物館」H30年度8月（54号）発行、（55号）2月末発行予定

おかやま文化振興ビジョン 施策体系



○おかやま文化振興ビジョンとは・・・

- 岡山県文化振興基本条例に基づく、文化振興に関する基本計画として平成20年に策定
- 取組期間は10年間(平成20年度～平成29年度)
- 平成24年度に中間見直しを行い改訂(成果指標(数値目標)の導入)

文化振興ビジョンにおける成果指標の実績

1 文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山

(1) 子ども・若者が文化に触れる機会の充実

指 標 名	現況値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
学校行事で県立美術館を訪れた人数	4,104人 (H23年度)	4,400人	5,848人	3,518人	2,734人	2,934人	2,840人	2,635人
(説明)授業や部活動などの学校行事で県立美術館を訪れた人数								
ワークショップ参加者数	908人 (H21～H23平均)	1,000人	2,632人	2,318人	2,592人	1,984人	2,607人	1,868人
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホールが開催したワークショップに参加した人数								
アウトリーチ活動実施回数	28回 (H21～H23平均)	30回	45回	39回	36回	39回	36回	27回
(説明)県立美術館、県立博物館、ルネスホールが実施したアウトリーチ活動の回数								

(2) 文化を担う人材や団体の育成・活用

指 標 名	現況値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
おかやま子どもみらい塾講師派遣回数	338回 (H21～H23平均)	380回	341回	420回	464回	476回	329回	381回
(説明)岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数								
文化関係各種助成金の採択件数	22件 (H23年度)	25件	21件	34件	27件	34件	38件	23件
(説明)文化庁、日本芸術文化振興会、地域創造等の団体が募集した助成金事業に採択された件数								
文化施設担当者研修会への参加者数	143人 (H23年度)	150人	164人	301人	160人	149人	981人	161人
(説明)岡山県博物館協議会主催の研修会へ参加した人数								
岡山県美術展覧会への応募点数	3,384点 (H23年度)	3,500点	3,384点	3,450点	3,254点	3,279点	3,115点	2,977点
(説明)岡山県美術展覧会へ一般応募された作品(日本画、洋画、工芸、書道、写真、彫刻、デザイン)の点数								
岡山県文学選奨への応募作品数	392件 (H24年度)	500件	392件	390件	428件	491件	414件	442件
(説明)岡山県文学選奨に応募のあった作品(小説、随筆、現代詩、短歌、俳句、川柳、童話)の数								

(3) 参加し、楽しみ、感動できる機会の充実

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
文化施設利用者数	531,106人 (H23年度)	700,000人	527,721人	477,784人	464,430人	472,409人	475,715人	465,240人
(説明) 県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館の利用者数								
県立美術館の講座等への参加者数	1,646人 (H23年度)	2,500人	3,439人	3,418人	5,117人	3,343人	3,214人	3,078人
(説明) 県立美術館が実施する美術館講座、美術のタペ、講演会、フラワーレクチャー等への参加者数								
優れた芸術を鑑賞した学校数	85校 (H23年度)	475校	179校	292校	421校	549校	670校	794校
(説明) 県や国が実施するスクールコンサートや、青少年劇場、巡回公演事業等を開催した学校の累積数								
県民文化祭参加者数	252,914人 (H23年度)	350,000人	347,757人	358,116人	381,729人	417,509人	349,779人	211,742人
(説明) おかやま県民文化祭への総参加者数								
「おかやま文化の駅」ホームページアクセス数	27,742件 (H23年度)	35,000件	20,572件	14,506件	23,217件	25,692件	44,497件	78,152件
(説明) 県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「おかやま文化の駅」へのアクセス数								

2 文化の力で創り、拓く岡山

(1) 伝統文化の保存・継承・発展

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
日本伝統工芸展への応募点数	146点 (H23年度)	150点	130件	133点	112点	110点	95点	93点
(説明) 日本伝統工芸展に県内在住者が応募した点数								
登録文化財の登録件数	251件 (H23年度)	300件	252件	268件	274件	274件	275件	295件
(説明) 登録文化財の登録件数								
後樂園の入園者数	664,503人 (H23年度)	765,000人	661,175人	659,121人	700,758人	817,260人	881,881人	887,303人
(説明) 後樂園の入園者数								

(2)文化の力による地域づくりの推進

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
おかやま県民文化祭地域フェスティバル参加者数	33,073人 (H23年度)	40,000人	90,280人	257,400人	259,205人	284,367人	244,881人	61,879人
(説明)おかやま県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)への参加者数								
地域の景観づくりに主体的に取り組む景観行政団体(市町村)数	6団体 (H23年度)	10団体	6団体	7団体	7団体	8団体	8団体	8団体
(説明)景観計画の策定等、地域独自の景観形成施策を実施する景観行政団体(市町村)数								
地産地消協力店の登録店舗数	262店舗 (H23年度)	290店舗	288店舗	304店舗	330店舗	342店舗	356店舗	376店舗
(説明)県産食材を積極的に提供する県内小売店や飲食店を「地産地消協力店」として県が登録した店舗数								

(3)文化を活かした産業の活性化

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
IT・コンテンツ人材育成研修等への参加者数	36人 (H23年度)	40人	94人	38人	36人	25人	16人	32人
(説明)県の委託により実施したIT・コンテンツ人材育成関連の研修に参加した人数								
観光客入り込み数	1,459万人 (H23年暦年)	1,500万人	1,322万人 (H24暦年)	1,232万人 (H25暦年)	1,422万人 (H26暦年)	1,449万人 (H27暦年)	1,740万人 (H28暦年)	1,570万人 (H29暦年)
(説明)県内観光施設等への観光客入り込み数								

3 文化でつながり魅力を発信する岡山

(1)連携・協働の推進

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
おかやま県民文化祭地域フェスティバル実行委員会への参加団体数	34団体 (H23年度)	40団体	43団体	29団体	82団体	147団体	288団体	397団体
(説明)おかやま県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)の実行委員会に参加した団体数								
おかやま子どもみらい塾講師派遣回数	338回 (H21~H23平均)	380回	341回	420回	464回	476回	329回	381回
(説明)岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数								
「おかやま文化の駅」ホームページアクセス数	27,742件 (H23年度)	35,000件	20,572件	14,506件	23,217件	25,692件	44,497件	78,152件
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「おかやま文化の駅」へのアクセス数								
県立美術館ボランティア数	81人 (H24年度)	85人	81人	80人	92人	97人	96人	95人
(説明)県立美術館に登録しているボランティア数								

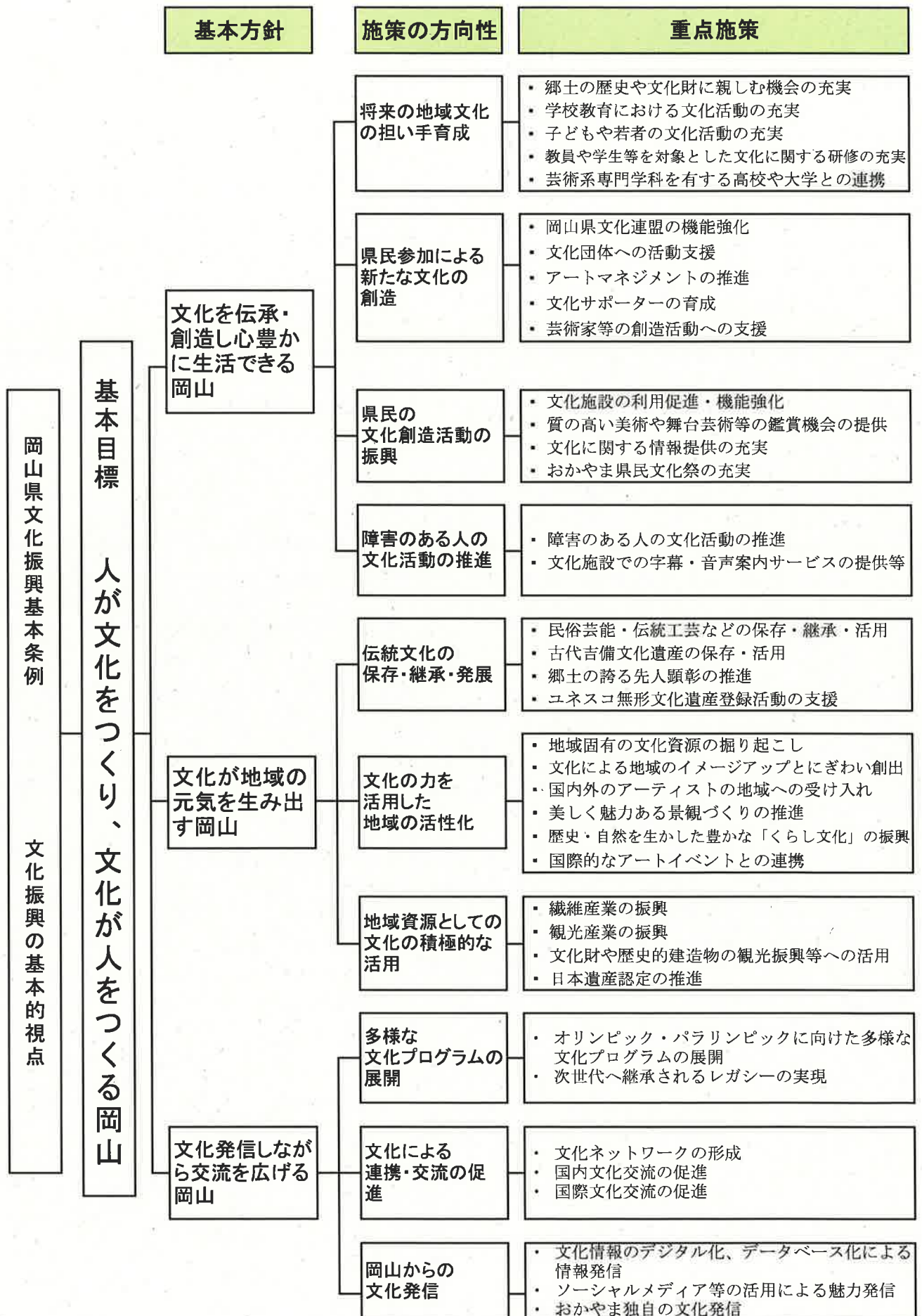
(2)文化交流の促進

指 標 名	現況値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
国民文化祭への派遣団体数	18団体 (H24年度)	20団体	18団体	7団体	8団体	11団体	7団体	3団体
(説明)国民文化祭への派遣団体数								
国際文化交流事業に参加した生徒数	— (H23年度)	900人	162人	162人	162人	261人	261人	408人
(説明)国際文化交流事業(韓国・中国)に参加した高校生の累積数								

(3)岡山からの文化発信

指 標 名	現況値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっていると感じる人の割合	25.6% (H23年度)	35%	31.1%	31.3%	28.5%	29.1%	30.2%	30.6%
(説明)県民満足度調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じる人の割合								
「おかやま文化の駅」ホームページアクセス数	27,742件 (H23年度)	35,000件	20,572件	14,506件	23,217件	25,692件	44,497件	78,152件
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「おかやま文化の駅」へのアクセス数								
内田百閒文学賞への応募作品数	340件 (H24年度)	350件 (H28年度)	340件	—	306件	—	358件	—
(説明)内田百閒文学賞に応募のあった作品(随筆、短編小説)の数								
ラジオ番組による文化情報等の発信回数	— (H23年度)	100回	26回	52回	78回	事業終了	—	—
(説明)県内の文化情報を定期的なラジオ番組として情報発信した回数								

おかやま文化振興ビジョン(2018-2027)体系図



文化振興ビジョンにおける成果指標の実績

1 文化を伝承・創造し心豊かに生活できる岡山

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 H39(2027)年度	直近の実績値 (H30.12末)	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)
文化施設利用者数	483,612人	530,000人	371,231人				
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館の利用者数							

(1) 将来の地域文化の担い手育成

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 H34(2022)年度	直近の実績値 (H30.12末)	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)
おかやまの文化財キッズページ年間アクセス数	854件 (2016年度)	1,800件 (2020年度)	1,459件				
(説明)おかやまの文化財キッズページ年間アクセス数							
学校行事で県立美術館を訪れた人数	3,661人	4,800人	2,370人				
(説明)授業や部活動などの学校行事で県立美術館を訪れた人数							
子どもみらい塾講師派遣回数	406回	530回	387回				
(説明)岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数							
優れた芸術を鑑賞した学校数	668校	1,300校	935校				
(説明)県や国が実施するスクールコンサートや、青少年劇場、巡回公演事業等を開催した学校の累積数							
アウトリーチ活動実施回数	39回	43回	10回				
(説明)県立美術館、県立博物館、ルネスホールが実施したアウトリーチ活動の回数							

(2) 県民参加による新たな文化の創造

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 H34(2022)年度	直近の実績値 (H30.12末)	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)
おかやま文化芸術アソシエイツへの相談件数	—	400件	72件				
(説明)おかやま文化芸術アソシエイツへの相談件数の累積数							
文化関係各種助成金の採択件数	31件	40件	22件				
(説明)文化庁、日本芸術文化振興会、地域創造等の団体が募集した助成金事業に採択された件数							
県が実施するアートマネジメント講座修了者数	69人	200人	98人				
(説明)県が実施するアートマネジメント人材を育成するための講座を修了した受講生の累積数 (H26からの累計)							
県立美術館ボランティア数	89人	100人	87人				
(説明)県立美術館に登録しているボランティア数							
岡山県美術展覧会への応募点数	3,296点	3,300点	2,696点				
(説明)岡山県美術展覧会へ一般応募された作品(日本画、洋画、工芸、書道、写真、彫刻)の点数							

(3) 県民の文化創造活動の振興

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 H34(2022)年度	直近の実績値 (H30.12末)	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)
文化施設利用者数	483,612人	506,000人	371,231人				
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館の利用者数							
「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	30.2% (2016年度)	38.0% (2020年度)	28.0%				
(説明)県民満足度調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合							
「岡山文化情報」ホームページアクセス数	25,697件	34,000件	54,819件				
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「岡山文化情報」へのアクセス数							
県民文化祭参加者数	370,978人	408,000人	160,000人				
(説明)おかやま県民文化祭への総参加者数							

(4)障害のある人の文化活動の推進

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 H34(2022)年度	直近の実績値 (H30.12末)	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)
障害のある人のアート展への応募点数	—	250点	294点				
(説明)岡山県主催の障害者アート展への応募点数							
beyond2020プログラムのうち障害のある人にとってのバリアを取り除く取組を含むプログラムの認定件数	—	1,100件 (2020年度)	333件				
(説明)岡山県が認定するbeyond2020プログラムのうち障害のある人にとってのバリアを取り除く取組を含むプログラムの認定件数の累積数 ※生き生き指標のためH29の取組も含む							

2 文化が地域の元気を生み出す岡山

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 H39(2027)年度	直近の実績値 (H30.12末)	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)
地域の特色や魅力を生かす取組を展開できるアートマネジメント人材の育成数	69人	500人	161人				
(説明)おかやま文化芸術アソシエイツが実施するアートマネジメント研修受講者数と県が実施するアートマネジメント人材を育成するための講座を修了した受講生の累積数							

(1)伝統文化の保存・継承・発展

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 H34(2022)年度	直近の実績値 (H30.12末)	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)
日本伝統工芸展への応募点数	116点	120点	67点				
(説明)日本伝統工芸展に県内在住者が応募した点数							
登録文化財の登録件数	275件	310件	303件				
(説明)登録文化財の登録件数							
犬養木堂記念館及び岡崎嘉平太記念館利用者数	25,772人	29,000人	24,415人				
(説明)犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館の利用者数							

(2)文化の力を活用した地域の活性化

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 H34(2022)年度	直近の実績値 (H30.12末)	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)
東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラム の件数	—	2,000件 (2020年度)	563件				
(説明)東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムとして、国、県等が認定する文化イベント件数の累積数 ※生き生き指標のためH29の取組も含む							
県民文化祭地域フェスティバル実行委員会への参加団体数	118団体	130団体	353団体				
(説明)おかやま県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)の実行委員会に参加した団体数							
県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業参加アーティスト数	20人	25人	19人				
(説明)県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業への参加アーティスト数							
地域の景観づくりに主体的に取り組む景観行政団体(市町村)数	8団体	10団体	8団体				
(説明)景観計画の策定等、地域独自の景観形成施策を実施する景観行政団体(市町村)数							
外国人旅行者宿泊者数	133,082人	300,000人 (2020年度)	243,350人				
(説明)県が調査している外国人旅行者宿泊者数							

(3)地域資源としての文化の積極的な活用

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 H34(2022)年度	直近の実績値 (H30.12末)	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)
観光入込客数	1,433万人	1,500万人 (2020年)	1,570万人 (H29暦年)				
(説明)観光庁「観光入込客統計」(暦年調査)による観光入込客数							
後楽園の入園者数	744,039人	900,000人 (2020年度)	635,572人				
(説明)後楽園の入園者数							

3 文化発信しながら交流を広げる岡山

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 H39(2027)年度	直近の実績値 (H30.12末)	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)
文化施設ホームページアクセス件数	360,035件 (2016年度)	432,000件	376,438件				
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館のホームページアクセス件数							

(1) 多様な文化プログラムの展開

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 H34(2022)年度	直近の実績値 (H30.12末)	H31年度 (2019)	H32年度 (2019)	H33年度 (2019)	H34年度 (2019)
東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの件数【再掲】	—	2,000件 (2020年度)	563件				
(説明)東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムとして、国、県等が認定する文化イベント件数の累積数							

(2) 文化による連携・交流の促進

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 H34(2022)年度	直近の実績値 (H30.12末)	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)
文化に関わる人々のネットワークづくりのためのワークショップ等受講者数	—	1,500人	393人				
(説明)おかやま文化芸術アソシエイツが実施する文化に関わる人々のネットワークづくりのためのレクチャー・ワークショップ受講者数の累積数							
国民文化祭への派遣団体数	8団体	10団体	5団体				
(説明)国民文化祭への派遣団体数							
県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業参加外国人アーティスト数	5人	7人	4人				
(説明)県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業への参加外国人アーティスト数							

(3) 岡山からの文化発信

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 H34(2022)年度	直近の実績値 (H30.12末)	H31年度 (2019)	H32年度 (2020)	H33年度 (2021)	H34年度 (2022)
「岡山文化情報」ホームページアクセス数【再掲】	25,697件	34,000件	54,819件				
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「岡山文化情報」へのアクセス数							
県立美術館フェイスブック「いいね」の数	—	1,900件	1,556件				
(説明)県立美術館フェイスブック「いいね」の数の累積数							

※累積数を指標としている場合、現況値はH28(2016)年度現在の累積数を記載している。

重 点 事 業 調 書

担当部局・課名		環境文化部文化振興課				
新生き生き プラン	重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造				
	戦略/ガム	8 生きがい・元気づくり支援プログラム				
	施策	3 重点 東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域活力の醸成				
総合 戦略	基本目標	4 地域の活力を維持する				
	対策	4 地域の持続的発展のための活力の維持				
	課題/パッケージ	4-① 地域社会の活性化				
重点事業の名称		おかやま生き生き文化プログラム推進事業				
終期設定(年度)	32	予算区分	一般	事項名	芸術文化活動費	
現状課題根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックは文化の祭典でもあり、岡山の文化を国内外に発信する絶好の機会である。 ・平成31年度は「瀬戸内国際芸術祭2019」の開催により国内外から観光客の増加が見込まれる。 ・豪雨災害の被災者を芸術文化面から勇気づけ元気な岡山をアピールするため、アートプロジェクトを展開する。 					
事業の内容	<p>1 文化芸術アソシエイツ事業 《6,235千円》 岡山県文化連盟内に専門人材を配置し、文化プログラムの参画の促進や文化団体等の活動を支援する。</p> <p>2 アートプロジェクトおかやま推進事業 《92,722千円》 【観光連携事業】おかやま観光キャンペーン事業との連携 観光キャンペーンと連携し、「フルーツ・アート・温泉」をテーマに誘客を図る。</p> <p>(1) 新規岡山芸術交流の開催 《50,000千円》 終期：H31 復興への寄与も目的とした国際現代アート展を岡山市等で開催する。</p> <p>(2) 新規美作三湯芸術温度の開催 《17,015千円》 終期：H31 アーティストが美作三湯の各旅館の魅力を引き立てる作品の制作・展示を行う。</p> <p>(3) 新規東京キャラバン in 岡山の開催 《3,000千円》 終期：H31 県内外の様々な分野のアーティストがシブフォーモンスを行う東京キャラバンを東京都等で開催する。 ※東京キャラバン：東京オリンピック・パラリンピックに向けて東京都が主導する文化プログラム</p> <p>(4) アーティスト滞在・交流事業 《4,000千円》 アーティストを招聘し、地域資源を素材とした作品の制作・展示等により新たな魅力発信を行う。</p> <p>(5) 拡充芸術文化育成・支援事業 《3,000千円》 本県ゆかりの美術作家等に対して発表の場を提供することで次代を担う芸術家を育成する。</p> <p>(6) 拡充アートで地域づくり実践講座 《8,552千円》 講座及び自主企画事業等への支援によりアートマネジメント力のある人材を育成する。</p> <p>(7) 新規オーケストラの鑑賞機会の提供 《7,155千円》 オーケストラの演奏を聴く機会が少ない地域で岡山フィルハーモニック管弦楽団による公演を実施する。</p>					
事業の意図・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力をアートの視点で掘り起こし、地域を活性化させる。 ・瀬戸内国際芸術祭の開催効果を県内各地に波及させる。 ・豪雨災害の被災者を勇気づけ、元気な岡山を国内外へアピールする。 ・おかやま観光キャンペーン事業と連携し「フルーツ・アート・温泉」をテーマに誘客を図る。 ・東京オリンピック・パラリンピックに向け、岡山の文化の魅力を国内外へ発信する。 					
事業の目標設定	事業	生き生き指標、重要業績評価指標(KPI) 等			現状値	目標値
	1	生き生き文化プログラムの件数			226件(H29)	2000件(H32)
事業費の見積もり	2	KPI 県民満足度調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」に満足またはやや満足と回答した者の割合			28.0%(H30)	38.0%(H31)
	区分	H30 予算額	H31 予算要求額	H32 見込額	H33 見込額	H34 以降見込額
財源内訳	事業費(単位：千円)	20,200	98,957	28,942		
	国庫		12,007	3,500		
	起債					
	その他特定財源					
	一般財源	20,200	86,950	25,442		

アートプロジェクトおかやま推進事業 事業展開イメージ

- ・地域の魅力をアートの視点で掘り起こし、地域を活性化
- ・瀬戸内国際芸術祭の開催効果を県内各地に波及
- ・豪雨災害の被災者を勇気づけ、元気な岡山を国内外へアピール
- ・おかやま観光キャンペーン事業と連携し、「フルーツ・アート・温泉」をテーマに誘客
- ・東京オリンピック・パラリンピックに向け、岡山の文化の魅力を国内外へ発信



岡山県文化振興審議会規則

平成十八年三月二十四日
岡山県規則第五十一号

(趣旨)

第一条 この規則は、岡山県附属機関条例(昭和二十七年岡山県条例第九十二号)第四条の規定により、岡山県文化振興審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第二条 審議会は、次の事項を所掌する。

- 一 岡山県文化振興基本条例(平成十八年岡山県条例第十五号。以下「文化振興基本条例」という。)第八条の規定により知事から諮問された事項に関する調査審議及び意見の具申
- 二 その他文化振興基本条例の施行に関する意見の具申

(組織)

第三条 審議会は、委員二十名以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者のうちから知事が任命する。

(委員の任期)

第四条 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、任期満了後であっても、新たに委員が任命されるまでは、その職務を行うものとする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第五条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第六条 審議会の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門部会)

第七条 審議会は、その所掌事項の一部を分掌させるため、専門部会を置くことができる。

(委員以外の者の意見の陳述)

第八条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に審議会の会議に出席して意見を述べさせ、又は説明させることができる。

(庶務)

第九条 審議会の庶務は、環境文化部文化振興課において処理する。

(その他)

第十条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成十八年四月一日から施行する。

附 則(平成二二年規則第二七号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成二十二年四月一日から施行する。